

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和8年度 第1回松阪市図書館協議会
2. 開 催 日 時	令和8年8月17日（月） 午後1時30分～午後2時50分
3. 開 催 場 所	松阪図書館 2階 講座室
4. 出 席 者 氏 名	（委 員） ◎岡野裕行、○鈴木美保、相口学、木村祐子、小野家代子、西岡尚子、中村豊子、西岡裕子、新良公子、西山直美 （◎会長 ○副会長） （事務局） 松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 松岡 松阪図書館チーフ 吉野 嬉野図書館チーフ 久世 生涯学習課長 山中 生涯学習課長補佐 本田 生涯学習係長 杉田 生涯学習係 森岡
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0人
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL 0598-53-4396 FAX 0598-26-8816 e-mail ikig.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項・議事録
別紙

令和 8 年度 第 1 回松阪市図書館協議会 議事録

○開催日時：令和 8 年 8 月 17 日（月）午後 1 時 30 分から午後 2 時 50 分

○開催場所：松阪図書館 2 階 講座室

○議題

1. 開会
2. 役員選出
3. 会長挨拶
4. 自己紹介
5. 協議事項
 - ①令和 7 年度松阪市図書館実績報告について
 - ②第 2 回図書館協議会について
 - ③ビブリオバトル第 12 回まつさか大会について
 - ④その他
 - ・三雲みんなの図書館コミュニカル及び飯高管内地域開放型図書館の実績報告について
 - ・意見交換・提言等
6. 閉会

○出席者氏名

【委 員】岡野裕行、木村祐子、相口学、中村豊子、西山直美、小野家代子、西岡尚子、鈴木美保、西岡裕子、新良公子、
計 10 名

【事務局】松阪市図書館館長（株式会社図書館流通センター） 松岡
松阪図書館チーフ 吉野
嬉野図書館チーフ 久世
生涯学習課長 山中
生涯学習課長補佐 本田
生涯学習係長 杉田
生涯学習係 森岡

●協議事項

①令和 7 年度松阪市図書館実績報告について

館長・事務局：令和 7 年度松阪市図書館実績について、ご説明します。

（資料に基づき、館長・事務局から説明

内容…図書館利用統計、資料区分別貸出冊数、利用状況、定例行事・特別行事、
テーマ・展示本コーナー、飯南・飯高地区貸出統計、電子図書館実績）

委員長：ありがとうございました。それではただいまの説明について、皆様よりご意見、
ご質問等ございましたらよろしくお願いします。

委員：本当によくわかってなくて、、資料 5-1、5-2 の、飯南・飯高地区貸出統計で
0 が並ぶ地区がありますよね。これは統合したという理由でないということでは
ょうか。

館長：そうですね、0 のところは利用がないということです。

委員：利用がないというだけで、本が置かれたり、借りたりする機会はあるということ
なのでしょうか。

館長：飯南地区になりますと、産業文化センターの方に図書館の本を置かせていただ
いています。それにつきましては、こちらの図書館システムのカウントにはなっ
ておりません。そのため、もしそちらで本を借りていらっしゃったとしても、こち
らの数字には反映されないということになっております。

委員：今年、産業文化センターに寄らせていただいたことがあります。その時に、当然
人はおらず、本はたくさんある状態でしたが、見ただけでは図書館の本かどう
か掴めませんでした。それを見て、この 0 という状態がどのような状態なのかと
思いました。

館長：説明不足で申し訳ありません。こちらの数字は、松阪図書館にご来館して貸出
をされた方をカウントしたものになっております。

委員：図書館の利用者がそれぞれの、地区の方で 0 という結果が出てしまっている
ということですね。

館長：やはり、遠隔地に位置している、ということはあるかもしれません。ただ、産業文化センターの方へ松阪図書館の本を持って行ってますし、元々産業文化センターさんにある本もあるかと思います。そちらの本は結構利用されているかと思います。

委員：感謝申し上げたかったことを1つございます。松阪市政の20周年記念事業である、村上しい子さんの講演会に参加させていただきました。村上しい子さんが親しみやすい方で、話の方も大変面白かったです。参加された方は大人の方が多かったのですが、是非とも小中学生にもお話をしていただきたいと思いました。中学生相手にとてもいいお話をされる方だと思います。是非とも子供たちの前でそういう機会があったら、是非機会を作っていただきたいと思いました。以上です。

委員長：村上しい子さんとは本読もうネットという県の教育委員会がやっている読書推進の団体、そちらの会長、副会長という関係であります。ぜひ小中学生にもお話していただけたらなと思います。

委員：資料1-2で資料区分がありますが、視聴覚資料はどのようなものですか。

館長：嬉野図書館におきましては、視聴覚資料の視聴スペースがあります。また、展示ライブラリーといいまして、クラシック音楽が聴けるサービスもございます。松阪図書館につきましては、その視聴覚資料のカウントも入っています。

委員長：松阪図書館の方でイベントがあった移動図書館車 LiBOON ですが、松阪市が購入されて、定期的に回ったということでしょうか。

館長：お借りして回らせていただいた形になります。

委員長：伊勢の方でも同じようにお借りして、試しにやってみました。松阪市では実際のくらい利用者からご反応があったか聞かせていただきたいです。

館長：開催日のほとんどが、天候の悪い日ばかりになってしまいました。その中でも、本を広げて飾ってあると、楽しそうに見ていらっしたり、同じお話会でも少し雰囲気が違うということで、好評いただきました。

委員長:伊勢市の方でも LiBOON 車を購入できたらとお話はあるんですがなかなか難しいです。松阪市でも、地域の施設や学校も巡っていただくかと思えます。予算の都合もあるかと思いますが、定期的な巡回を行うにあたり購入を検討いただけたらと思います。

委員:飯高地区の貸出統計について、非常に細かく書いていただいているのですけれども子ども自体が0という所がほとんどです。なので、ここまで詳細に出していただかなくても問題はないと思います。

委員長:私は土地勘がないので、地名等で一致しないのですけれども、小学校区などその辺りで括ってもいいのかなという感じはしました。今までもずっとこの形で統計を出していただいていますか。

館長:今までは、全部統計を出させていただいていたのですが、嬉野の方につきましてはまとめさせていただいているので、同じような形で次回からは進めさせていただければと思います。

委員長:確かにそちらのほうがいいかと思えます。少し見づらさとかもありますし、データとしても正確に細かいところまで見られるという点はいいんですけれども、まとめていただいた方がいいですね。

委員:今回初めて参加させていただいて、これまでいかに自分が皆さん方や図書館が力を入れていたことの全容をわかっていなかったと感じました。逆に、これだけたくさんの方のことを、松阪市の子どもたちや大人にも発信していただいていることをもっと早く知っておくべきだったと深い反省をしております。ビブリオバトルのことは、前任で昨年参加してみえた委員からよくお話を伺っていました。面白そうだと思いますし、学校でもたくさんされている中で、子供たちが生き生きしている様子だとお伺いしました。やっぱり本の魅力が子どもたちの発信力や自己表現力を育むきっかけになっていると感じます。自分が面白いと思うものに出会い、それをたくさんの人に知ってもらってというのはどうしたら広げられるかなと思うことがあります。学校も学校でやっても、やっぱり、一般の人たちとともに、いろんなチャンスがうまく繋がって活かしきれていないのだと思います。繋いでいくというところは課題なのかなと思います。

②第2回図書館協議会について

事務局:第2回図書館協議会についてご説明します。

(資料に基づき、説明)

委員長:私の方から少し補足させていただきます。もともと学校図書館と公共図書館の両方のご経験をお持ちで、特に学校図書館の活用の面で力を発揮してる方です。講演会の講師としては適任だと思います。3年任期の3年目なので、伊勢にいらっしゃるうちに、ぜひ講演会の講師としてお話いただきたいと思います。

③ビブリオバトル第12回まつさか大会について

事務局:ビブリオバトル第12回まつさか大会についてご説明します。

(資料に基づき、説明)

委員:一般の部と小中学生の部と一緒にされるということで、各々投票は両方にできるということでしょうか。参加者は一般の部にも、小中学生の部にも投票できる、ということでしょうか。

委員長:基本、その場に行って、聞いていれば投票権があるということでしょうか。

事務局:そうですね。一般の部をしてから小中学生の部、という流れになります。通しで聞いていただける方と、片方だけで投票にみえる方もいらっしゃると思います。その場合の方への受付は、今後協議をしていきたいと思いますが、基本的には最初に受付をさせていただいて、その場にいる方全員が投票できる形にしたいと思います。

委員長:発表者も、小中学生でも早めに会場に行くこともできるし、一般の人が残って、小中学生の発表を見ることができるとい形になるんですかね。

事務局:表彰式を最後にまとめて、一般の部と小中学生の部と一緒にしようと思っています。2回表彰式をすると時間の関係も出てきますので、最初に一般の部をして、その後小中学生の部、最後に表彰式という形で考えています。部門の順番は逆になることもございますが。

委員長:1日にまとめることで、なるべくたくさんの方に来ていただくという狙いでしょうか。

事務局:そうですね。どうしても一般の部の参加者が少ないということと観覧者が少

ないという状況なので、もっと参加する人を増やして盛り上げることができればいいかなと。集約することで効率化をはかるのではなく、一緒にすることで、異なる世代の方々にも発表も見ていただいて、勉強していただくということも期待しております。

委員：去年の参加者は4人でしたが、今年は何人くらいを考えてらっしゃいますか。

事務局：実績を見ていくと一般の部は、4人程度が限度だと思います。去年は小中学生の部では6名参加があり、殿町中学校さんではかなり力をいれていただきご参加いただきました。今年度は半日でのイベントを予定しておりますので、10人程度が限度かなと考えています。これ以上多くなりましたら、またどうするか考えたいと思います。

委員：参加したことがないのでわからないのですけれども、一人ひとりの制限時間は、人数が少なくても決まっていることなのでしょうか。

委員長：私の方で回答させていただきます。ビブリオバトルは公式ルールが決まっており、発表5分質疑2, 3分となっております。全員そのルールで発表するため、人数次第で全体の時間が多少前後すると思います。ルール通りにやっていたく形になると思います。

副委員長：私は、過去に2、3回ビブリオバトル出たことがありますが、発表する方はおそらくなかなか勇気が要ると思います。できたら見に来る方や聞きに来る方が増えると、かなり盛り上がるかと思います。発表する人や聞く人が少数では、その投票も結局票が割れてしまったりして、醍醐味がなくなってしまいます。私も過去に参加したときに、聞きに来るだけの人でも増えたらと思っておりました。観覧者を増やすには、どうしたらいいのかと疑問に思いました。

委員長：そうですね。観覧者をいかに増やしていくかが課題だと思います。広報や皆さんのお声がけをお願いできればと考えています。

委員：今回、一般の部と小中学生の部を一緒にすることは、とてもいいことだと思います。私は、一般の部よりも小中学生の部の方が聞きたいので、できれば小中学生の部を最後にしていただきたいです。

委員長：お子さんと、保護者の方もついてくると思うので、人数が増えるのではないかと思います。

委員長：県大会も毎年三重県の教育委員会の方で高校生大会をしているので、情報共有して高校生にも来ていただくという、協力関係があるといいかもしれませんね。県の教育委員会、本読もうネットさんの情報も活用していければと思います。では、今年のビブリオバトルは一般の部と小中学生の部で一日で開催するということをお願いいたします。

④その他

・三雲みんなの図書館コミュニカル及び飯高管内地域開放型図書館の実績報告について

・意見交換・提言等

事務局：三雲みんなの図書館コミュニカル及び飯高管内地域開放型図書館についてご説明します。

（資料に基づき、説明）

委員：昨年この図書館協議会で、電子図書館に関して、子どもたちが持っているタブレットでも使えるようにしたいということで、要望させていただきました。その時に検討するとの回答でしたが、実現していただき大変ありがたいと思っています。例えばですが、そのタブレットにビブリオバトルなどのPRを載せることができないのかと思いました。子どもたちが知れば、親にも情報が共有されるということで、難しいとは思いますができたらいいなと思いました。ありがとうございます。

事務局：周知に関しましては、松ナビや市の公式 Instagram でさせていただこうと考えております。子どものタブレットに関しましては、どういう扱いが我々もよくわかってない部分がございます。例えば、テトルといいまして、保護者向けのアプリがありますが、そのアプリを利用したやり方もあると思います。学校支援課と相談しながら、子どもたちへの周知をどうするか考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

委員：おはなしキャラバンは、来てくれた子供たちにスタンプカードを渡して、スタンプを10個貯めると、ちょっとしたプレゼントを渡しております。それが、今の時代にそぐわないということで、図書館の方で作っていただければということをして昨年度の図書館協議会第2回で、図書館さんの方をお願いしました。その時のご返

答が検討するということでしたが、まだ、ご返答の方をもらっていないなと思い、お聞きしたいと思います。

館長：申し訳ありません。前のものがたくさん残っている状態ですので、それを渡し切ってからどうするかという話になっております。

委員：そうすると、今は図書館さんの方で作っていただいたものを渡しているということですね。

事務局：今あるものは、ボランティアさんの方が作って、それをいただいたものになります。

委員：そのもらったものを使ってもらっているということですね。わかりました。

以上 午後 2 時 50 分終了